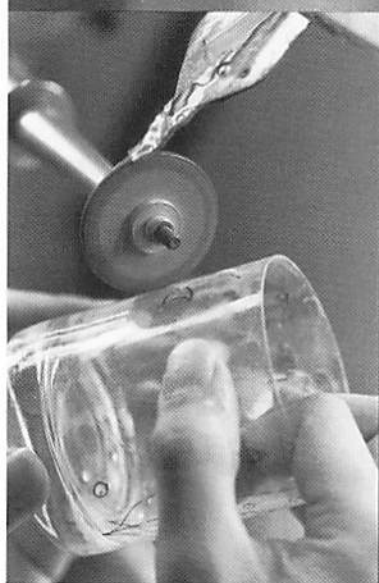


硝子の世界。

エンゲレービングは
自然物をモチーフにした模様
が主流だ。
でも、ゆくゆくは
人をモチーフにした作品も
つくってゆきたい。
人の体の動き、
あるいは横顔などを
表現してみたいと思っている。



ENGRAVING

[FUMIHIKO MASUDA]

増田文彦

大学を卒業、クリエイターとして生きてゆこうと思った。しかし、具体的にこれといった目標があるわけでもなかった。やらなければならないことは、きつとある。ただ、それが何なのかわからなかった。

そんなとき、長浜市元浜町にある黒壁スクウェアでアルバイトを募集しているのを知った。吹きガラスの工程に携わりながら、さまざまなガラス製品をつくる。アルバイトをしながらガラス工芸の知識を身につけている自分の姿を想像した。精華大学ではビジュアルデザインを専攻。だが、もともとアクリルやガラスなど、透明感のある素材は好きだった。

ガラス工房での作業に思いを馳せる内に、イメージがどんどんふくらむ。自分がやら

なければならないことが、そこにあるような気がした。どうせアルバイトをするなら、この際雇ってもらえないだろうか？ そんな思いがここで働くきっかけとなった。

それから三年になる。

はじめはステンドグラスのデザインに携わった。自分でも、ガラスを吹くよりデザインの方が性にあっていっていると思った。仕事も順調に捗った。それが去年の九月、突然オーストリアのラッテンベルグへ研修に行け、といわれた。「エングレービング」の技術を習得してほしいという。

エングレービングとは水晶に模様を彫るための技法で、研磨剤をつけた丸い銅板をつかい、下絵に沿ってガラスを削り、模様をつける技術のことだ。モチーフには

花や草木など自然物が多い。素晴らしい技術には違いないが、実際、どんなふうに見えるのか、見当もつかなかった。

とりあえずオーストリアへ飛んだ。ラッテンベルグは中世の面影を残す美しい街だ。街の中央をチロル街道が通り抜け、そこにはたくさんガラス工房がある。「ガラスの街ラッテンベルグはチロル旅行者の合言葉となっている」、そんな説明にも充分にうなずける風景が目の前にあった。

三ヶ月間の滞在で基本をマスターしなればならなかった。その工房ではひとりの女性指導者として彼を迎えてくれた。現地の「ガラスの学校」で使う教材をもとに、エングレービングのバターンブックを彼女は用意してしてくれた。

これがずいぶん役に立った。彼女はドイツ語しか話せない。言葉による意志疎通はほとんど不可能だったが、バターンブックはいわば絵本のようなものだ。これを互いに指し示しながら授業がすすんだ。あとは、彼女が作業する手元をじっとそばでみるだけだ。日本に帰ってからそのときのことを思い出すと、工芸は理屈ではない、ということがづくつくつと実感できた。「見ておぼえる」とは、よくいったものだ。

食味は違うが、ラッテンベルグには米も醤油も置いてあった。何より印象に残っているのはワインとビールだ。周りにいる人々は素朴で、ピヤホールなどへ出かけてもすぐに仲間になった。そこで飲むビールはほんとうにウマかった。帰国してから体重が

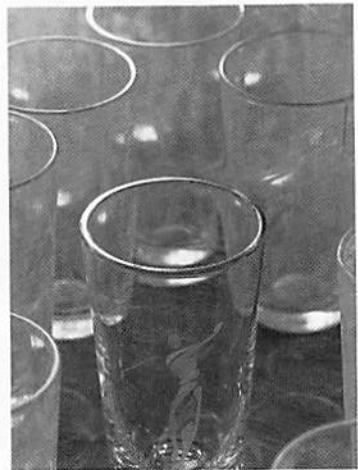
八キロほど増えていたのに気づいたが、原因はもちろん、ビールの呑み過ぎだ。

長浜に帰ってから、さらに技術者に付いて三ヶ月間修業した。そうして今年の三月、小さなのだがエングレービングの作品販売を兼ねた製作工房も完成した。まだまだこれからは修業を重ねていかなければならないが、基礎的な製作技術を人に教える身でもある。教室も開いているし、自分のつくったものもこれまでにずいぶん売れた。

「ひかりを通すものにすく興味があったんですね。ガラスは好きな素材のひとつでした。でも、エングレービングを自分ができるようになるには、夢にも思っていないな

PROFILE

滋賀県大津市出身。一九七一年生まれ。滋賀県立東大津高校を経て精華大学卒業。専攻はビジュアルデザイン。株式会社黒壁に入社、第2工房ステンドグラス部勤務。オーストリア・ラッテンベルグ市に滞在、エングレービングの技法を学び、目下、同社にてその技法による作品を創出中。ガラスの新しい魅力を伝えるべく、日本的・現代的な新しいエングレービングの確立を目指す二十四歳。



かかった。

最初に彫った模様ですか？丸ばかり彫ってましたね。えんえんとガラスにそればかり彫ってましたよ。見ていただければわかりますが、モーターの力で回る円盤、それも五ミリくらい厚みのある円盤にガラスをあてて模様を彫るわけです。でも円盤とガラスの接点は目で確認できない。これに、まず慣れていかないと何もできません。

円盤型の刃へ垂直にガラスをあてると自然に円形に削れます。これが基本。思った箇所思ったおりの大きさの円を彫ること。そこからすべてがはじまる。

それができると、精円にすすむ。刃(円盤)の直径や厚みでさまざまな大きさのものができるところもわかってくる。そうして、自分で

できるかたちをすこしずつ増やしていった。その組み合わせでいろいろな模様を彫るので「す」

エングレービングは草木など自然物をモチーフにした模様が主流であり、伝統でもある。だが、ゆくゆくは人間をモチーフにした作品をつくってゆきたいとも考える。人の体の動き、あるいは横顔などを表現できれば、というのが抱負だ。

「商品づくり、作品づくり、すべてを自分のペースと裁量で決めることができます。仕事ですから学生時代のように自由だ、というわけではありません。しかし、ここでは自分の中にある可能性を見つけていくことができる。それは非常にシビアなことかも知

れません。けれども、自分が何をやらなければならないのかを、ようやくここでつかむことができましたように思います」

遠く戦国時代より南蛮文化をとり入れてきたこの地で、新たな文化を築こうと興された黒壁ガラススクウェア。そのギヤマンの輝きの中で、今、ひとりの青年が自分自身をたしかめようとしている。

文/三村 淳・写真/小笠原 圭彦

円高の今だから!

Part.1 世界一周がなんと¥196,000

ユナイテッド航空/ルフトハンザ航空、ノースウエスト航空/オランダ航空で行くパリ・ロンドン・ニューヨーク・アムステルダムなど人気都市を巡る**世界一周!**その上8~9月出発一年間オープンチケットだから、休み前でもお盆でも、いつ出発でも料金変わらず。(但しレートの変動による変更の場合あり)円高だから実現したこの価格、ビジネス・ファーストクラスを狙うなら今だ!!

クラス	価格
エコノミー	196,000円
ビジネスクラス	295,000円
ファーストクラス	439,000円

Part.2 アメリカとヨーロッパのよくばり旅行 ¥115,000

ユナイテッド航空の35日間F I Xチケットで行くよくばり旅行。こちらは期間限定で8月28日以降の出発。



株式会社 **エイチ・アイ・エス**
 京都営業所 運輸大臣登録一般旅行業第724号
 〒604京都市中京区河原町通朝業師上ル
 奈良屋町293清水屋ビル6F
 ツアー ☎075(256)5691
 格安航空券 ☎075(241)2528